

インターバンクの声（2016年3月3日）

東京市場午後のドル上昇スピードは鈍り始めてはいたが、ロンドン市場からニューヨーク市場の朝方にかけても、まだまだドル円には115円を付けにいくような雰囲気は漂っていた。ニューヨーク市場のその後の進捗をいつまでも見ている訳には行かず、翌朝東京市場に戻ってくるドル円の水準を楽しみにしていたが、起きてみれば何ともがっかりの113円台前半だ。2月の米ADP雇用統計の数字も予想を上回る伸びを示していたし、前日程の勢いはなかったにしてもニューヨーク市場の株価が下がっていたわけでもない。米国債利回りも上昇していたし、何とも納得しにくいドルの反落だ。米エネルギー省エネルギー情報局（EIA）が週間石油在庫統計の増加を発表したことが理由の一つだったとの声もあるが、原油価格が極端に下げる反応を見せたわけでもない。ドル買い持ちのストップ・オーダーがついてしまったので、もう一度出直したが、今日の東京市場では日経平均株価が今年初めて3日連騰となるのかどうかを見守りたい。ドル買いは明日の雇用統計の発表があるまで待つことにした。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。